

第78回定時総会提出 『道路整備促進に対する要望事項』

- 環境負荷の少ない交通・物流基盤の構築
- GX推進に向けた物流ネットワーク網の早期整備

東北地区道路利用者会議

道路は、人とくらしを支え、豊かな地域社会の形成を図る最も基本的な社会資本であり、質の高い創造的な社会の構築に向け、地域連携を強化し、活力ある経済を支えられた「ゆとりある社会」を実現するために、既存ストックの有効活用や良質な社会資本を計画的に整備することが不可欠であります。

また、持続可能な地域生活圏を確立し、圏域間の補完を可能とするために、高規格道路が果たす役割は大きく、人口減少や大規模災害リスクの中で、地方部における生活圏人口の維持に不可欠な高規格道路を「地域安全保障のエッセシャルネットワーク」と位置づけ、早期の形成を図るべきです。さらに、我が国の生産性を向上させ、成長力及び国際競争力の強化、観光等経済活動拡大につながる高規格道路の未整備区間の解消など、高規格道路が国土をつなぐ幹線道路ネットワークとして、シームレスなサービスレベルを確保するよう、早期整備が必要です。

特に、社会資本整備の遅れている東北地域にとっては高規格道路から市町村道に至る道路網の整備を、重点的かつ効率的に推進することが是非とも必要であります。

さらに、東日本大震災をはじめとする災害により甚大な被害を受けた道路については、国民生活に大きな影響をおよぼすので、1日も早い復旧に取り組むとともに、災害復旧に対し柔軟な対応が必要であります。このため、次の事項について強く要望いたします。

1. 東日本大震災からの復興・創生について

未だ多くの被災者の方々が、不自由な生活を余儀なくされており、被災者の方々が1日も早く安全で安心な生活を取り戻すとともに、被災地が復興を確実に成し遂げるためには、復興を支える道路事業を計画的に推進する必要があることから、「第3期復興・創生期間」においても通常予算とは別枠での財政措置に向け必要な制度構築を図るとともに、復興事業が完了するまで、必要な予算を確保すること。

2. 災害に強い基幹的な道路整備等の推進について

東北地方は、過疎・中山間地及び半島部を多く抱えており、道路整備が急務であることから、地方の道路整備予算の充実強化に努めること。

令和元年東日本台風等の被災状況を踏まえた災害に強い道路ネットワークの構築や、近年頻発するゲリラ豪雨等による冠水対策、年々増加する維持管理に対する支援制度の拡充、令和3年1月の東北縦貫自動車道におけるホワイトアウトによる多重事故や令和3年12月の記録的な大雪などを教訓とした防雪・除排雪事業をはじめとする冬期道路交通対策、防災対策による事前通行規制箇所の解消、交通事故対策、道路インフラの老朽化対策及び無電柱化など、必要とされる道路事業が着実に推進されるよう積極的な対策及び予算措置を図ること。

さらに、昨年6月に策定された第1次国土強靱化実施中期計画において、対策の事業規模として今後5年間でおおむね20兆円強程度を目途とし、今後の資材価格・人件費高騰等の影響について適切に反映することが示されたことを踏まえ、必要な予算を確保し、継続的・安定的に国土強靱化の取組を推進すること。また、期限が延長された「緊急自然災害防止対策事業」等については、地方の実情に応じた取組を推進するため、対象事業のさらなる拡大を図ること。

加えて、国土強靱化を計画的かつ着実に推進するため、事業採択前に必要な調査・設計など多額の地方単独費を要する業務について、補助・交付金や地方備充当の対象とするなど、地方財政措置の充実・強化を図ること。

3. 重要物流道路の整備推進について

平常時・災害時を問わず安全かつ円滑な輸送を確保するため、重要物流道路の整備推進によるネットワーク強化を図ること。

4. 計画的な道路整備の更なる促進について

- 高規格道路の整備を促進すること。
また、一般広域道路の早期整備及び予算の拡大を図ること。
 - 東北縦貫自動車道 八戸線
「七戸～青森間」の機能強化
 - 東北横断自動車道
釜石秋田線「北上JCT～大曲IC」間の早期4車線化
酒田線「月山IC～湯殿山IC」間に位置する(仮称)庄内内陸月山連絡道路の早期計画策定、「寒河江SAスマートIC～月山IC」間、「湯殿山IC～鶴岡JCT」間の早期4車線化
いわき新潟線(磐越自動車道《会津若松～新潟中央間》)の早期4車線化
 - 日本海沿岸東北自動車道
「朝日まほろばIC～あつみ温泉IC」間、「遊佐鳥海IC～象瀧IC」間及び「北秋田今泉IC～蟹沢IC」間の早期整備
「酒田中央IC～酒田みなとIC」間の早期4車線化
 - 東北中央自動車道
「新庄真空川IC～(仮)金山北IC」間、「(仮)及位IC～(仮)上院内IC」間の早期整備
「米沢北IC～南陽高畠IC」間及び「山形JCT～天童IC」間の早期4車線化
 - 常磐自動車道
「広野IC～山元IC」間の早期4車線化
 - 津軽自動車道「柏浮田道路」の早期整備
 - 三陸沿岸道路「山田北IC」の早期フルIC化
 - 三陸沿岸道路「洋野種市IC」の早期フルIC化
 - 仙台北部道路の全線の早期4車線化及び「富谷ジャンクション」の早期フルJCT化
 - 東北縦貫自動車道「(仮)栗原IC」、「(仮)八幡平スマートIC」、「(仮)白石中央スマートIC」、「(仮)大玉スマートIC」及び東北中央自動車道「天童南スマートIC」、「(仮)高畠スマートIC」並びに常磐自動車道「(仮)小高スマートIC」の早期整備
 - 一般国道4号「仙台拡幅(竜ノ瀬～鹿の又)」の調査・設計促進
 - 一般国道6号(仙台南部道路)の早期4車線化
 - 一般国道7号(三川バイパス)の早期4車線化
 - 一般国道46号(盛岡秋田道路)「生保内～卒田」間の早期事業化
 - 一般国道47号(新庄酒田道路)高屋防災、高屋道路及び戸沢立川道路の早期整備、「高屋～草薙」間及び「立川～余目」間の早期計画策定
 - 一般国道47号(石巻新庄道路)「泉郷部付近(中山平～瀬見)」等の早期計画策定、一般国道108号(石巻新庄道路)の早期計画策定
 - 一般国道113号(新潟山形南部連絡道路)「鷹ノ巣道路」、「小国道路」の早期整備、「小国～飯豊」、「片貝～金丸」の調査促進及び他区間の早期計画策定
 - 仙台都市圏の幹線道路ネットワークの機能強化(仙台東道路の調査促進)
 - 一般国道4号と279号(下北半島縦貫道路)の早期整備
 - 一般国道4号「白石南拡幅」、「大衡道路」、「古川高清水拡幅」、「築館バイパス」の早期整備
 - 一般国道7号「鶴ヶ坂防災」の早期着工
 - 一般国道7号「秋田南拡幅」の早期整備
 - 一般国道13号「河辺拡幅」の早期整備、「横手北道路」の調査・設計促進、「津久茂橋」の早期架替
 - 一般国道48号 観光期の渋滞対策の検討
 - 一般国道105号「大野野峠防災(直轄権限代行)」の早期整備
 - 一般国道106号(宮古盛岡横断道路)「田鎖菘目道路」、「箱石達智部道路」の早期整備及び未事業区間の早期計画策定、指定区間への編入
 - 一般国道108号「石巻河南道路」の早期整備
 - 一般国道112号「山形中山道路」の早期整備及び「山形南道路」の調査・設計促進
 - 一般国道121号会津縦貫南道路「湯野上バイパス」の早期整備
 - 一般国道118号の一部区間と121号の直轄指定区間への編入
 - 一般国道4号「矢吹鏡石道路」の早期着工、「水沢金ヶ崎道路」、「水沢東バイパス」、「金ヶ崎拡幅」、「北上花巻道路」、「盛岡南道路」の早期整備
 - 一般国道4号福島北道路の調査促進
 - 一般国道6号「勿来バイパス」の早期整備、「小名浜地区(林城～飯田)」の早期事業化
 - 一般国道13号「福島西道路(Ⅱ期)」の早期整備
 - 一般国道49号「北好間改良」、「会津防災」の早期整備及び「好間三和防災」の調査・設計促進
 - 一般国道103号「奥入瀬(青楓山)バイパス」の早期整備
 - 一般国道289号「八十里越」の早期整備
 - 一般国道349号伊達市梁川町五十沢地区の早期計画策定
 - 一般国道398号「石巻バイパス(沢田工区)」の早期整備
 - 一般国道399号「伊達橋」の早期復旧
 - (主)浪江国見線「伊達崎橋」の早期修繕
- 活力ある地域社会や快適な生活環境を形成するため、地方生活圏を機能的に結ぶ道路網の早期整備を図ること。
- 福島県における避難解除等区域やその周辺の広域的な物流や地域医療、産業再生、福島イノベーション・コー

北海道地区道路利用者会議

北海道は、豊かな自然、広大な土地、冷涼な気候などの特性と、豊富な再生可能エネルギーをはじめ、我が国最大の供給力を有する農林水産業、自然や文化を活かした魅力的で質の高い観光資源といった数多くのポテンシャルを有しており、こうした北海道ならではの独自性や優位性を活かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現と我が国の発展に貢献していくためには、人流・物流などを支える道路ネットワークが必要不可欠です。

しかしながら、地域の産業を支える本道の道路を取り巻く環境は、高規格道路における未整備区間をはじめ、自然災害に伴う交通障害、幹線道路や通学路における交通事故、道路施設の老朽化など、多くの課題を抱えております。

こうした課題を解消し、人流・物流の効率化による生産性向上及び国際競争力の強化や、切迫する千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震や気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害に備えた強靱な地域づくりのほか、GX・AI・DX産業などの集積を促進するためにも、本道の骨格を形成する高規格道路から身近な市町村道に至る道路網の整備や老朽化対策などを着実に推進することが必要です。

このため、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも「第1次国土強靱化実施中期計画」の着実な推進、及び必要な道路整備や除排雪を含む維持管理を長期安定的に進めるための予算を満額確保することが必要であります。

このようなことから、次の事項について要望します。

《令和9年度北海道開発予算等の総額確保》

○北海道の活性化、ひいては我が国の成長・発展に貢献するため、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、「第1次国土強靱化実施中期計画」の着実な推進、及び必要な道路整備や除排雪を含む維持管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和9年度道路関係予算の総額を確保すること。

《交付金制度等の見直し及び新たな制度の創設》

○国土強靱化の計画に基づく道路の橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策などを推進するために必要な予算を確保するとともに、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の拡充を図ること。

また、積雪寒冷地の実情を踏まえ、冬期における安全・安心な道路交通を確保するため、防雪対策や老朽化が進行している除雪機械の更新に必要な予算の確保など、雪寒対策等の財政支援措置を講ずること。

○切迫性が指摘されている、千島海溝・日本海溝周辺海溝型地震などの大規模地震が発生した際、集落の孤立を防ぎ、緊急支援活動を円滑に実施するため、緊急輸送道路上の橋梁の耐震化について、新たな補助制度を創設すること。

○冬期における日常生活や地域経済活動を維持し、人々の暮らしを守るため、近年の労務費等の上昇に伴う経費の増加を踏まえ、除排雪等に必要な予算を十分に確保するとともに、地域の降雪状況等に応じた配分を行うこと。

また、安定的・持続的な除雪体制を維持するため、少雪時の待機補償や機械固定経費などの最低保証に対する財政支援制度を創設すること。

○道民が安全で安心に暮らすことができる社会を実現するため、通学路の合同点検を踏まえた交通安全対策や事故危険区間などの解消に向けた交通安全施設の整備が速やかに実施できるよう、必要な予算を確保すること。

○地方における道路施設の老朽化対策に関する財政負担のさらなる軽減を図るため、すべての道路施設の維持管理等に活用可能な交付金制度を創設すること。

《緊急自然災害防止対策事業の予算確保など》

○令和8年度より事業期間の延長及び凍上災害の対象範囲が拡充された緊急自然災害防止対策事業について、必要な予算を確保するなど地方財政措置制度の充実を図ること。

《公共施設等適正管理推進事業の期限延長》

○令和8年度末に期限を迎える公共施設等適正管理推進事業について、道路等の長寿命化事業を推進する必要があるため期限を延長すること。

《道路事業における評価手法の見直し》

○道路整備の事業評価にあたって、防災機能など、交通量の多寡によらない多様な観点も含めて事業の必要性を適切に評価する仕組みを構築すること。

《北海道開発の枠組みを堅持》

○北海道総合開発計画に基づき、社会資本整備を総合的かつ着実に推進することができるよう、開発予算の一括計上や北海道特例、及びこれを担う北海道局や北海道開発局の人員体制の維持・強化を図るなど、北海道開発の枠組みを堅持すること。

《要望事項》

【高規格道路の整備】

○高規格道路の調査・整備の推進、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化の推進

- | | |
|------------|---------------------|
| ・北海道縦貫自動車道 | ・北海道横断自動車道(根室線、網走線) |
| ・日高自動車道 | ・旭川・紋別自動車道 |
| ・帯広・広尾自動車道 | ・函館・江差自動車道 |
| ・旭川十勝道路 | ・遠軽北見道路 |
| ・渡島半島横断道路 | ・帯広空港道路 |
| ・釧路中標津道路 | ・創成川通 |
| ・道央圏連絡道路 | ・函館新外環状道路 |
| ・根室中標津道路 | ・松前半島道路 |
| ・道東縦貫道路 | ・帯広圏連絡道路 |

【高規格道路の機能向上】

○暫定2車線区間の4車線化優先整備区間の早期事業化及び整備推進

○追加インターチェンジの整備やジャンクションの改良等

北海道横断自動車道

- ・長流枝スマートIC(仮称)の早期完成
- ・新得スマートIC(仮称)・新得PA(仮称)の早期完成
- ・小樽JCTの早期完成
- ・本別JCTの早期完成

倶知安余市道路(国道5号)

- ・共和北IC(仮称)の早期完成

【地域間の連携・交流を促進するための道路網の整備】

○空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路等の整備

○交通不能区間等の解消

○物流・人流の生産性向上のための渋滞対策の推進

○物流の効率化のため、「ダブル連結トラック」通行可能区間の更なる拡充、及び「ダブル連結トラック」用の駐車マスの整備推進

○道州制特区推進法に基づく移譲事業の着実な推進

○観光アクセス道路の整備

【災害に備えた道路交通環境の整備】

○災害危険箇所の解消

○無電柱化推進計画に基づく取組の推進

○国土強靱化地域計画に基づく事業(防災・減災)の推進

○緊急輸送道路における道路施設の耐震化

○大規模災害に備えたネットワーク整備

【道路施設の老朽化対策の推進】

○長寿命化修繕計画に基づく老朽化対策の推進

○積雪寒冷地の舗装損傷に対応するために必要な予算の確保

【冬期における安全な道路交通の確保】

○雪崩・地吹雪対策など、冬に強い道路の整備

○冬期交通確保のための除排雪の充実、雪寒機械の更新・増強

○鉄道駅周辺・中心市街地・通学路などを中心とした歩道除排雪の充実

【安全で安心な道路交通環境の整備】

○幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進

○主要施設周辺における隘路区間の解消や歩行空間のバリアフリー化の推進

○安全な自転車利用環境整備の推進

○エゾシカとの衝突事故回避のための対策推進

【都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備】

○都市の円滑な交通を確保するための道路の整備

○高規格道路と札幌都心のアクセスを強化する道路の整備推進

○周辺再開発と一体的な札幌駅交通ターミナル整備の推進

○渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備推進

○パスターミナルやバス停などバス利用拠点の整備・改善

【地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現】